

■■ 平成28年7月26日(火) ■■

～ 第11回 ひのまるちびっ子なつまつり ～



ひのまる公園(東区北41条東10丁目)で、「第11回ひのまるちびっ子なつまつり」が開催され、夏休みに入った子どもたちを中心に約1,500人が参加し、会場は大いににぎわいました。

この催しは、子どもの健全育成と地域の賑わいの創出を目的として関係団体により設立された「栄東地区子ども未来会議」に所属する「ひのまるちびっ子なつまつり実行委員会(実行委員長:新井熟)」が主催しました。

栄緑小学校の児童による開会宣言後、祭りがスタート。会場内には、ダンボールストラックアウト、ボウリング、バルーンアート、昔遊びなど、約30種類のコーナーが用意され、地域のボランティアをはじめ、区内の中高生などが運営を行った。また、ステージ発表では、子どもたちが「よさこい」やダンスを元気に披露しました。



強い日差しが降り注いだこの日は、水遊びができる「タライでちゃっぷん」「まとあて」「さかなすくい」などが大人気。水に触れ、気持ちよさそうに遊ぶ子どもたちに、学生ボランティアたちがやさしくサポートしていました。

「ヨーヨーつり」を担当していた中学生ボランティアは、「私も小学生のときにこの祭りに参加していました。たくさん子どもたちが楽しく



遊んでくれて、やりがいを感じます」と笑顔で話していました。



■■ 平成28年8月3日（水） ■■

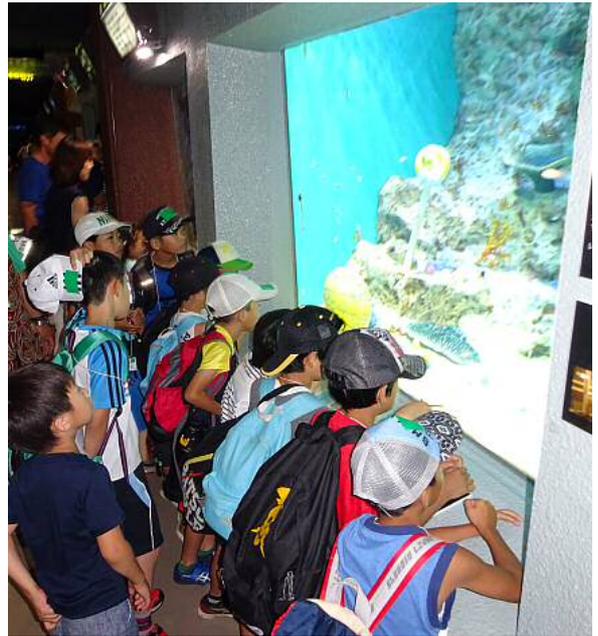
～ 夏休み 日帰りバスツアー（おたる水族館）～

栄東地区青少年育成委員会（会長：佐藤清彦）が主催、栄東連合町内会（会長：永淵宏）が後援する「夏休み日帰りバスツアー」が開催され、栄東地区の5つの小学校（栄・栄東・栄南・栄町・栄緑）の3年生から6年生、合わせて78名が参加。

日の丸会館駐車場に集合した子どもたちは、結団式で佐藤会長からあいさつを受けた後、早速2台のバスに分乗して出発。

朝8時30分に出発し、1時間程度で「おたる水族館」に到着しました。

10班に分かれ、入口で「ウミガメ」のお出迎えを受けたあと、「海のパンorama回遊水槽」や「ネズミイルカのほのぼのプール」などを見学。



見晴らし抜群の「展望園地」で昼食を食べましたが、アブラムシが多数発生したため「虫がいるのでお弁当が食べられない！」と、女の子が大声を出す場面もありました。

午後からは「イルカ・オタリアショー」や「アザラシ・ペンギンショー」などを見学し、おたる水族館を出発。午後5時頃、日の丸会館に到着。

解団式で永淵連合町内会長からあいさつを受け、充実した一日を終えました。



■■ 平成28年8月9日（金） ■■

～ 環境衛生施設見学会（白石清掃工場・市民防災センター）～

栄東連合町内会（会長：永淵宏）が主催する環境衛生施設見学会が行われました。

毎年1回開催されている研修会で、今回は各町内会の会長や環境衛生部長など43名が参加。東米里の「白石清掃工場」と南郷通の「市民防災センター」を見学したあと「アサヒビール園」で食事をとりました。

白石清掃工場では、施設の概要について説明を受けたあと、発電設備や中央制御室、ごみが搬入されるごみピットなどを見学。省エネやダイオキシン対策など環境に十分配慮された最新施設を見た参加者は、30m以上もあるごみピットの深さやごみクレーンの大きさに圧倒。ゴミが実際に処理される様子を見て、担当職員に次々と質問していました。

